

# 制御機構

安全、正確に機構群をコントロールし、創作の意思をかたちにします。



## 操作系システム

操作系は、きめ細かい舞台ニーズの理解が求められる専門的な技術領域です。演出の意図どおりに舞台機構を操作できるよう、ヒューマンインターフェースには特別な配慮がなされています。基本的には、単純明快に操作できること、手動感覚で操作できること、視覚的に機構の状態を把握できること、の各要件を満たすために、確認と入力が容易なタッチパネルやジョイスティックレバー等の採用、機器状況（現在位置、速度、動作状態など）を視覚的に表示するCRT画面の組み込みを順次標準化。また、機構の動作を指定する方法として、プログラム作成によるシーン運転のほか、データの入れ換え、割り込み、飛び越し等のマニュアル操作が簡単・正確に、そして安全に行える機能も盛り込まれています。



## 標準型操作卓

### 長年のノウハウを結集し 業界のスタンダードを目指します

さまざまな舞台機構・舞台装置の操作に柔軟に対応できる「標準型操作卓」を実用化しました。従来、オーダーメイドで作られていた操作卓を標準化することで、低コスト化と操作性向上を目指すものです。将来的には、操作卓の業界標準の座を獲得したいと考えています。

この「標準型操作卓」の最大の特徴は、制御システムを基本モジュール部とカスタマイズモジュール部に分離したことです。

基本モジュール部については全ての製品で共用化し、カスタマイズモジュール部でお客様それぞれのご要望にきめ細やかに対応する仕組みとすることで、設計・製造コストを圧縮しつつ、柔軟なカスタマイズ性を持たせました。また、モジュール化により改修作業が容易になったため、現地改修工事にかかる費用も抑えることができます。

#### 省配線化

省配線化によって、電気工事コストの圧縮を実現しました。

#### 汎用操作パネル

操作ボタンなどは極力減らし、誰でも扱いやすい汎用操作パネルの確立を目指しました。

#### 自己判断機能

故障を未然に防ぐ「自己判断機能」を搭載しており、お客様に安心してご使用いただけます。

## 制御系システム

制御系は、操作系の入力データに基づいて要求どおりに舞台機構を動作させるためのシステムです。現在は、きめ細かい正確な制御が可能なデジタル方式が主流となり、吊物ボタンを手引きで動かすように、人の感覚に合ったスムーズな動きを実現できるようになっています。また、コンピュータ制御の特徴として、複数の機器を同時に運転する機能や、故障内容等の表示、機器稼働回数など維持管理データの記録と出力等の情報機能も充実しています。ハード面では、ボタンや迫りの積載重量が従来の数倍に改善され、動作のスピードアップや無段階のコントロールも可能になっています。

